

陳代文副市長の歓迎ご挨拶（2015年9月13日）

日本の政治が右傾化し、軍国主義に向かってきしみを響かせております。長谷川暁子さん、山本恒人団長はじめ団全員のみなさん。日中友好協会大阪府連合会は盧溝橋事件70年周年前夜の7月1日に「日中不再戦・永遠の平和友好」の集いを成功させられました。皆さん方の熱意とご努力に対して、私は市政府と240万佳木斯市民を代表して心からの敬意を表します。

歴史は忘れてはなりませんし、それを改竄したり、それに背いたりするのはもってのほかのことあります。歴史を忘れないというのは、過去の恨みを忘れないということではなく、侵略は必ずや敗北し、正義は必ずや勝利するという客観的な法則をさらに深く認識するためなのです。中国は本年9月3日大パレードを挙行し、中国人民の偉大なる抗日戦争勝利および世界反ファシズム戦争勝利70周年を盛大に記念したところであります。その主題は正義を守り、平和を限りなく尊重することにあります。

同時に、日本軍国主義者が卑劣な侵略戦争を発動した時、日本人民の中に正義と平和を呼びかけた人々がいたことを、私どもははっきりと記憶いたしております。長谷川テル（緑川英子）女史こそ、その傑出した代表者であります。女史は明確に断固として、正義ある中国人民の側に立ちました。真理の側に立ちました。テル女史は中日両国人民の優秀な娘であります。

70年後の今日、女史の娘長谷川暁子女史もまた父母の意思を受け継いで平和と正義の事業のために努力されております。本日、友人の皆さんと共に陵墓を清められ、中日両国人民の平和と正義の事業のための新たな努力を踏み出されました。皆さん方は中日両国人民の眞の使者であります。

佳木斯は三江平原に覆われた黒龍江東部の省第4位の重要都市であります。食糧と農業を基幹とする未来溢れる都市です。これからも若い日本の青年たちを引き連れ長谷川テル女史の事績を存分に学んでいただきたいと存じます。私たち佳木斯市は未来永劫皆さん方を歓迎いたします。